# 11 月 29 日「京都学ラウンジ　ミニ講座特別編」（開催報告）

平成３０年１１月３０日
京 都 学 ・ 歴 彩 館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。１１月２９日（木）は、館長特別ミニ講座として金田章裕館長による「洛中洛外の起源とコスモロジー」を開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　平成３０年 １１月２９日（木）　１３：３０～１４：３０

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 １階小ホール

■ 参加者数　　６６名

■ 内　　容　講師　京都府立京都学・歴彩館館長　金田　章裕
「洛中洛外の起源とコスモロジー」

■ 講座の様子

１１月最後の木曜日は金田館長によるミニ講座特別編を小ホールで開催した。延暦 13 年（794）に「山河襟帯」の地であることを理由に新たな都となった平安京。京はどのように描かれたのであろうか。九条家に残る「左京図」から、その伝統を引く近世期の『都記』などを説明したほか、名所と山河を描き込み、「山河襟帯」の一つの小宇宙として描いた近世の絵図などについてスライドを使いながら分かり易く説明した。また、縮尺を自在に操り、独特な世界観のもとで描かれた吉田初三郎の『京都名所大鳥瞰図』にまで話が及んだ。

多くの参加者を得て、大盛況のうちに館長特別ミニ講座を終えることができた。